

監査結果公表第3号

出資団体監査結果について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、出資団体監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果を公表する。

平成31年 3月18日

四日市市監査委員	加藤 光
同	廣田正文
同	笹岡秀太郎
同	山口智也

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社ディア四日市
商工農水部商工課（出資に関する事務の所管所属）
- 3 事前調査期間 平成30年12月3日から平成31年1月10日まで
- 4 監査期間 平成31年1月11日
- 5 監査対象年度 平成29年度
- 6 監査対象事項 出納その他の事務
- 7 監査方法 関係帳票の整備・記帳及び証拠書類の保存は適切か、会計経理及び財産管理等は適正に行われているか、財務諸表は適正に表示されているかに重点をおいて、関係帳票・証拠書類等の抽出調査及び監査資料に基づく質問等により行った。
また、所管所属に対し、出資団体の事業運営を十分把握し、指導的役割を果たしているかに重点をおいて、監査資料に基づく質問等により行った。

第2 監査対象の概要

- 1 設立年月日 平成5年3月1日（くすの木パーキング開業は平成9年4月）
- 2 資本金等（平成30年3月末日現在）
 - (1) 発行可能株式総数 36,000株
 - (2) 発行済株式の総数 32,163株
 - (3) 払込資本金 100,000,000円
 - (4) 四日市市の出資 31,091,627円（出資割合 31.09%）
- 3 役員数及び職員数（平成30年11月末日現在）
 - (1) 取締役 15名
代表取締役社長 鈴木 主計
専務取締役 日置 茂二
その他取締役 13名
 - (2) 監査役 2名
 - (3) 職員 5名
- 4 事業内容
 - (1) 駐車場の経営及び管理運営の受託業務
 - (2) 中心市街地活性化に関する調査研究事業及びイベントの企画運営事業
 - (3) 商店街活性化を支援するための展示場及び多目的ホールなどコミュニティ施設の運営
 - (4) 広告宣伝及び観光案内事業
 - (5) 損害保険代理店業

(6) 前各号に附帯する一切の業務

5 決算の状況

第26期(平成29年度)、第25期(平成28年度)の損益計算書、貸借対照表は次の各表のとおりである。なお、各表は、当法人作成の決算報告書から転記したものである。

(1) 比較損益計算書

科 目	平成29年度	平成28年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
営業収益	201,700,573	194,944,387	6,756,186	3.5
駐車場収入	184,964,431	178,208,245	6,756,186	3.8
受託事業収入	16,736,142	16,736,142	0	0.0
営業費用	138,221,963	138,470,121	△ 248,158	△ 0.2
営業利益	63,478,610	56,474,266	7,004,344	12.4
営業外収益	77,344	361,366	△ 284,022	△ 78.6
受取利息	876	1,635	△ 759	△ 46.4
雑収入	76,468	359,731	△ 283,263	△ 78.7
営業外費用	375,000	375,000	0	0.0
支払利息	375,000	375,000	0	0.0
経常利益	63,180,954	56,460,632	6,720,322	11.9
特別損失	0	55,692	△ 55,692	皆減
固定資産除却損	0	55,692	△ 55,692	皆減
税引前当期純利益	63,180,954	56,404,940	6,776,014	12.0
法人税、住民税及び事業税	185,000	185,000	0	0.0
当期純利益	62,995,954	56,219,940	6,776,014	12.1

(2) 比較貸借対照表

科 目	平成29年度	平成28年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
流動資産	72,639,555	47,960,811	24,678,744	51.5
現金及び預金	64,138,984	40,436,891	23,702,093	58.6
営業未収入金	6,182,491	5,497,258	685,233	12.5
貯蔵品	1,315,614	1,179,789	135,825	11.5
未収入金	126	243	△ 117	△ 48.1
前払費用	1,002,340	846,630	155,710	18.4
固定資産	881,696,914	934,695,353	△ 52,998,439	△ 5.7
有形固定資産	870,731,278	923,856,467	△ 53,125,189	△ 5.8
建物	851,792,530	897,639,720	△ 45,847,190	△ 5.1
建物附属設備	10,284,921	10,038,822	246,099	2.5

構築物	45,990	55,200	△ 9,210	△ 16.7
機械及び装置	897,433	997,574	△ 100,141	△ 10.0
工具器具備品	1,686,404	3,077,151	△ 1,390,747	△ 45.2
リース資産	6,024,000	12,048,000	△ 6,024,000	△ 50.0
無形固定資産	935,636	1,308,886	△ 373,250	△ 28.5
電話加入権	11,886	11,886	0	0.0
ソフトウェア	923,750	1,297,000	△ 373,250	△ 28.8
投資その他の資産	10,030,000	9,530,000	500,000	5.2
出資金	10,000	10,000	0	0.0
差入保証金	10,020,000	9,520,000	500,000	5.3
資産合計	954,336,469	982,656,164	△ 28,319,695	△ 2.9
流動負債	201,486,418	115,021,447	86,464,971	75.2
1年内返済予定長期借入金	171,646,000	87,083,000	84,563,000	97.1
未払金	3,792,643	3,041,909	750,734	24.7
未払法人税等	185,000	185,000	0	0.0
未払消費税等	3,877,100	3,265,400	611,700	18.7
未払費用	1,674,469	1,290,334	384,135	29.8
預り金	12,384,840	12,363,871	20,969	0.2
賞与引当金	1,601,166	1,466,733	134,433	9.2
1年内リース債務	6,325,200	6,325,200	0	0.0
固定負債	552,216,100	729,996,720	△ 177,780,620	△ 24.4
長期借入金	551,439,000	723,085,000	△ 171,646,000	△ 23.7
リース債務	0	6,325,200	△ 6,325,200	△ 100.0
退職給付引当金	777,100	586,520	190,580	32.5
負債合計	753,702,518	845,018,167	△ 91,315,649	△ 10.8
株主資本	200,633,951	137,637,997	62,995,954	45.8
資本金	100,000,000	100,000,000	0	0.0
利益剰余金	100,633,951	37,637,997	62,995,954	167.4
その他利益剰余金	100,633,951	37,637,997	62,995,954	167.4
繰越利益剰余金	100,633,951	37,637,997	62,995,954	167.4
純資産合計	200,633,951	137,637,997	62,995,954	45.8
負債・純資産合計	954,336,469	982,656,164	△ 28,319,695	△ 2.9

6. 地下駐車場の利用状況

くすの木パーキングの過去5か年における利用状況については下記のとおりである。

年 度	利用車両台数（台）			修正回転率
	中央通り	国道1号	計	
平成25年度	319,801	127,457	447,258	8.26
平成26年度	318,394	130,213	448,607	8.86
平成27年度	333,279	137,204	470,483	9.90
平成28年度	332,121	144,878	476,999	10.33
平成29年度	334,571	141,500	476,071	11.36

※収容可能台数 中央通り：306台 国道1号：203台

※修正回転率 駐車スペース1台についての1日あたりの平均駐車時間を示す。

修正回転率＝（年間総駐車時間）÷（年間総収容可能台数）×100

第3 監査の結果

「株式会社ディア四日市」の出納及びその他関連する事務並びに所管所属の当法人に対する指導状況等について監査した結果、次の指摘事項及び意見のとおり、是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく通知されたい。

1 指摘事項

【株式会社ディア四日市】

（1）財務書類等について

次のとおり不適切な事例が見受けられた。不備のない適切な事務処理を行うこと。

ア 個別注記表の重要な会計方針に係る事項に関する注記における固定資産の減価償却の方法に、無形固定資産に関する記載がなされていなかった。

イ 固定資産台帳において、機械及び装置の減価償却累計額に記載誤りが見受けられた。

（2）支出事務について

請求書において日付漏れ、振替伝票において承認印漏れが見受けられた。不備のない適切な事務処理を行うこと。

【商工農水部商工課】

特になし

2 意 見

【株式会社ディア四日市】

(1) 経営改善について

近年財務内容が改善されつつあるものの、過去に減損会計の適用及び資本金の減少を行った経緯がある。これまでに多額の投資が行われてきた点について、今後も常に念頭に置きながら、経営改善に努めること。 **【要望事項】**

(2) 資金運用について

償還金の返還など支払予定が概ね決まっていることもあり、また、株主へのアピールといった観点からも、今後は少しでも利益を上げる工夫として、定期預金等による資金運用を行うこと。 **【改善事項】**

(3) 駐車場の利用について

ア 定期券利用者の増加は経営の安定の一助となっているが、すでに収容台数に達して、現在新規受付をストップしている状態とのことである。収容台数との関係を見極めながら、一時駐車に来街者の利用に支障が出ないようにすること。 **【要望事項】**

イ カード発行機が設置されていないこともあり、ポイントカードの利用が伸びていないとのことである。駐車場の利用者増につなげるためにもカードの利用促進は必要であるが、場合によってはポイント手数料の負担が過大になる可能性もあり、そのメリットについて十分に見極めていくこと。 **【要望事項】**

(4) 駐車場における防犯対策について

地下にある施設ということから、利用者によっては出入りの際など防犯に関する安全面に不安を感じる場合がある。カメラによる監視、巡回を行うほか警察との連携などに努めるとのことではあるが、引き続き安心して利用できる環境の整備に努めること。 **【要望事項】**

(5) 利用料金の設定について

当駐車場の利用料金は上限価格など周辺駐車場と比較して高いと考えられる。立地、施設など利便性が高い面もあるが、さらなる利用促進のためにも料金設定が適切かどうか、市民目線で研究を続けていくこと。 **【要望事項】**

(6) 市との情報交換について

近鉄四日市駅前の整備や新図書館の建設などが進むことになれば、来街者が増加する要因となる。市の関係部局との連携により出来る限り情報を得ながら、駐車場経営を行っていくこと。 **【改善事項】**

(7) SNSを活用した情報発信について

利便性が高い駐車場である点について、アピールがなされていないように感じる。利用者モニターによるSNSを活用した情報発信など、多くの方々に知ってもらい、利用者の拡大につながるような取組みを行うこと。 **【改善事項】**

(8) 維持管理について

ア 駐車場施設の耐用年数は38年とのことであり、更新等はまた先とのことではあるが、今の時点から、将来を見据えた大規模修繕計画の策定等について検討していくこと。 **【要望事項】**

イ 出入口の階段などに地下水の染み出しによる汚れがある。利用者に気持ちよく利用しても

らえるよう、例えば出入口の塗り替えを行うなど美化についても検討すること。【要望事項】

【商工農水部商工課】

(1) 当法人への指導監督について

近年財務内容が改善されつつあるものの、過去に減損会計の適用及び資本金の減少を行った経緯がある。これまでに多額の投資が行われてきた点について、今後も常に念頭に置きながら、引き続き経営改善に向けた指導監督を行うこと。【要望事項】

(2) 中心市街地の活性化について

中心市街地は四日市の大きな魅力であり、駐車場の利用促進につながるよう、買物だけではなく、健康づくりなど他部局と積極的に連携しながら様々な取組みを行い、来街者の増加に努めること。【要望事項】

(3) 地下道の有効活用について

駐車場に隣接する地下道に設置されているガラス面については、現在利活用されていない状態である。例えば市の観光PRや物産品の展示のほか市民ギャラリーなど展示スペースとして利用するなど有効活用策について関係部局と連携しながら取り組むこと。

【改善事項】

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社三重県四日市畜産公社
商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場
(出資に関する事務の所管所属)
- 3 事前調査期間 平成30年12月5日から平成31年1月10日まで
- 4 監査期間 平成31年1月11日
- 5 監査対象年度 平成29年度
- 6 監査対象事項 出納その他の事務
- 7 監査方法 関係帳票の整備・記帳及び証拠書類の保存は適切か、会計経理及び財産管理等は適正に行われているか、財務諸表は適正に表示されているかに重点をおいて、関係帳票・証拠書類等の抽出調査及び監査資料に基づく質問等により行った。
また、所管所属に対し、出資団体の事業運営を十分把握し、指導的役割を果たしているかに重点をおいて、監査資料に基づく質問等により行った。

第2 監査対象の概要

- 1 設立年月日 昭和56年2月27日
- 2 資本金等（平成30年3月末日現在）
 - (1) 発行可能株式総数 400,000株
 - (2) 発行済株式の総数 100,000株
 - (3) 払込資本金 100,000,000円
 - (4) 四日市市の出資 25,000,000円（出資割合 25.0%）
- 3 役員数及び職員数（平成30年11月末日現在）
 - (1) 取締役 9名
代表取締役社長 原田 秀十志
その他取締役 8名
 - (2) 監査役 2名
 - (3) 職員 68名
(準社員、シニアパートナー、嘱託従業員、パートタイマー、期間社員、守衛を含む。)
- 4 事業内容
 - (1) 牛豚と畜業務及び内臓処理販売業務
 - (2) 牛豚枝肉の卸売業務
 - (3) 牛豚部分肉加工業務

5 決算の状況

第38期（平成29年度）、第37期（平成28年度）の損益計算書、貸借対照表は次の各表のとおりである。なお、各表は、当法人作成の「決算報告書」から転記したものである。

（1）比較損益計算書

科 目	平成29年度	平成28年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
売上高	693,760,975	703,694,744	△ 9,933,769	△ 1.4
販売手数料	180,081,215	168,990,668	11,090,547	6.6
解体手数料	150,660,918	155,142,432	△ 4,481,514	△ 2.9
業務受託料	113,339,520	116,244,040	△ 2,904,520	△ 2.5
冷蔵庫保管料	25,031,808	25,483,032	△ 451,224	△ 1.8
牛加工料	48,649,927	55,942,548	△ 7,292,621	△ 13.0
豚内臓売上高	70,158,338	71,944,227	△ 1,785,889	△ 2.5
牛肉内臓売上高	33,964,360	32,036,462	1,927,898	6.0
豚加工料	71,874,889	77,911,335	△ 6,036,446	△ 7.7
売上原価	69,701,546	64,732,918	4,968,628	7.7
豚内臓仕入高	44,929,510	44,010,633	918,877	2.1
牛肉内臓仕入高	24,772,036	20,722,285	4,049,751	19.5
売上総利益金額	624,059,429	638,961,826	△ 14,902,397	△ 2.3
販売費及び一般管理費	724,134,149	738,067,658	△ 13,933,509	△ 1.9
営業損失金額	△ 100,074,720	△ 99,105,832	△ 968,888	1.0
営業外収益	102,336,557	101,887,823	448,734	0.4
受取利息	23	31	△ 8	△ 25.8
受入補助金	79,302,000	79,302,000	0	0.0
賃貸・光熱料	4,934,184	4,856,424	77,760	1.6
貸倒引当金戻入益	2,587,300	1,910,600	676,700	35.4
賞与引当金戻入益	14,100,000	14,100,000	0	0.0
雑収入	1,413,050	1,718,768	△ 305,718	△ 17.8
営業外費用	69,207	95,233	△ 26,026	△ 27.3
支払利息割引料	69,136	95,136	△ 26,000	△ 27.3
雑損失	71	97	△ 26	△ 26.8
経常利益金額	2,192,630	2,686,758	△ 494,128	△ 18.4
税引前当期純利益金額	2,192,630	2,686,758	△ 494,128	△ 18.4
法人税、住民税及び事業税	1,252,900	1,400,600	△ 147,700	△ 10.5
当期純利益金額	939,730	1,286,158	△ 346,428	△ 26.9

(2) 比較貸借対照表

	平成29年度	平成28年度	対前年度増減額	増減率
	円	円	円	%
流動資産	243,726,897	254,922,976	△ 11,196,079	△ 4.4
現金・預金	132,105,375	130,302,443	1,802,932	1.4
牛加工売掛金	4,023,191	4,917,727	△ 894,536	△ 18.2
受託販売未収金	72,271,153	83,001,490	△ 10,730,337	△ 12.9
内臓未収金	7,200,579	5,110,140	2,090,439	40.9
豚加工売掛金	4,017,141	3,889,817	127,324	3.3
貯蔵品	848,821	962,174	△ 113,353	△ 11.8
前払費用	107,270	107,170	100	0.1
短期貸付金	0	150,000	△ 150,000	皆減
立替金	223,380	267,880	△ 44,500	△ 16.6
未収入金	23,913,465	26,918,239	△ 3,004,774	△ 11.2
未収冷蔵庫使用料	498,312	566,676	△ 68,364	△ 12.1
自家用未収金	1,084,910	1,316,520	△ 231,610	△ 17.6
貸倒引当金	△ 2,566,700	△ 2,587,300	20,600	△ 0.8
固定資産	191,999,562	189,504,940	2,494,622	1.3
有形固定資産	601,302	946,680	△ 345,378	△ 36.5
建物附属設備	5	9	△ 4	△ 44.4
設備造作	25,688	28,830	△ 3,142	△ 10.9
機械装置	4	73,630	△ 73,626	△ 100.0
車両運搬具	93,756	205,354	△ 111,598	△ 54.3
工具器具備品	481,849	638,857	△ 157,008	△ 24.6
無形固定資産	128,260	128,260	0	0.0
電話加入権	128,260	128,260	0	0.0
投資その他の資産	191,270,000	188,430,000	2,840,000	1.5
長期貸付金	190,970,000	188,130,000	2,840,000	1.5
保証金	300,000	300,000	0	0.0
資産合計	435,726,459	444,427,916	△ 8,701,457	△ 2.0
流動負債	108,347,300	118,464,375	△ 10,117,075	△ 8.5
短期借入金	3,000,000	3,000,000	0	0.0
未払費用	69,689,853	83,576,545	△ 13,886,692	△ 16.6
未払法人税等	440,300	354,900	85,400	24.1
預り金	20,317,147	17,432,930	2,884,217	16.5
賞与引当金	14,900,000	14,100,000	800,000	5.7
固定負債	303,053,493	302,577,605	475,888	0.2
長期借入金	190,000,000	190,000,000	0	0.0
預り保証金	33,081,493	34,093,605	△ 1,012,112	△ 3.0

退職給与引当金	79,972,000	78,484,000	1,488,000	1.9
負債合計	411,400,793	421,041,980	△ 9,641,187	△ 2.3
株主資本	24,325,666	23,385,936	939,730	4.0
資本金	100,000,000	100,000,000	0	0.0
利益剰余金	△ 75,674,334	△ 76,614,064	939,730	△ 1.2
その他利益剰余金	△ 75,674,334	△ 76,614,064	939,730	△ 1.2
繰越利益剰余金	△ 75,674,334	△ 76,614,064	939,730	△ 1.2
純資産合計	24,325,666	23,385,936	939,730	4.0
負債・純資産合計	435,726,459	444,427,916	△ 8,701,457	△ 2.0

6. 取扱高

平成29年度、平成28年度の取扱高については、次の表のとおりであった。なお、表は、団体作成の「第38期定時株主総会召集通知」添付の取扱高報告から転記し、事務局が作成したものである。

(単位:円)

牛	平成29年度	平成28年度	対前年比(%)
①入荷頭数	4,036	4,571	88.3
②取引頭数	1,150	984	116.9
③平均単価/頭	858,320	894,530	96.0
④平均単価/kg	1,807	1,985	91.0
⑤取引金額	987,067,961	880,217,389	112.1

豚	平成29年度	平成28年度	対前年比(%)
①入荷頭数	90,744	90,286	100.5
②取引頭数	90,548	90,131	100.5
③平均単価/頭	41,938	40,029	104.8
④平均単価/kg	540	518	104.2
⑤取引金額	3,797,387,663	3,607,883,852	105.3

牛豚合計取引高	4,784,455,624	4,488,101,241	106.6
---------	---------------	---------------	-------

①入荷頭数＝食肉センターにおけると畜頭数

②取引頭数＝食肉市場における取引頭数

③平均単価/頭＝食肉市場で取引された枝肉等の1頭あたり平均額(＝⑤÷②)

④平均単価/kg＝食肉市場で取引された枝肉等の1kgあたり平均単価

⑤取引金額＝食肉市場で取引された枝肉等の総取引金額

牛部分肉	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年比(%)
取扱頭数	1,394.5	1,815.5	76.8
取扱重量	462,965.7	549,864.7	84.2
取扱金額	48,649,927	55,942,548	87.0

豚部分肉	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年比(%)
取扱頭数	16,613.0	19,352.0	85.8
正肉重量	1,010,010.6	1,149,161.2	87.9
取扱金額	71,874,889	77,911,335	92.3

内臓処理	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年比(%)
内臓売上	95,901,423	95,387,433	100.5
その他売上	8,221,275	8,593,256	95.7
合計売上	104,122,698	103,980,689	100.1

総取引高	5,009,103,138	4,725,935,813	106.0
------	---------------	---------------	-------

第3 監査の結果

「株式会社三重県四日市畜産公社」の出納及びその他関連する事務並びに所管所属の当法人に対する指導状況等について監査した結果、次の指摘事項及び意見のとおり、是正又は改善を要するものなどが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、その措置を講じるよう要望する。

なお、措置を講じたときは、遅滞なく通知されたい。

1 指摘事項

【株式会社三重県四日市畜産公社】

(1) 財務書類等について

ア 個別注記表の重要な会計方針に係る事項に関する注記において、引当金の計上基準に関する記載がなされていなかった。不備のない適切な事務処理を行うこと。

イ 営業報告書について、会社法に定める事業報告として、定時株主総会に議案として提出し、承認を得ている。会社法においては、事業報告の内容を定時株主総会に報告しなければならない旨定められており、規定に沿うように改めること。

ウ 貸付金利息の勘定科目を雑収入としているが、受取利息とする方が適切であるため、勘定科目を改めること。

(2) 文書管理について

次のとおり不適切な事例が見受けられた。不備のない適切な事務処理を行うこと。

ア 出張届において、出張届日の記載誤り及び出張者印並びに精算金受領印漏れ。

イ 四日市市からの補助金交付関係通知書において、社内回覧がなされていなかった。

【商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場】

特になし

2 意 見

【株式会社三重県四日市畜産公社】

(1) 経営改善について

ア と畜頭数がほぼ上限に達しているなか、経営努力で収支を改善していくためには、経営者にはそれに見合うような精緻な情報が必要となる。担当者は、結果としてのトータルの利益だけでなく、利益を構成する要素を十分に理解したうえで、改善点等の情報を社長に報告すること。 【改善事項】

イ 内臓について、仕入が増加している一方で、その見合い分の売上は増加していない。仕入から販売までいかにロスなく行くかということが重要であり、外部に対して十分に説明できるようにすること。 【改善事項】

(2) 累積欠損について

厳しい経営状況の中で単年度損益は黒字を維持し、累積欠損を段階的に圧縮し、退職給与引当金も積み増している。引き続き累積欠損を計画的に圧縮していくこと。 【改善事項】

(3) 技術の継承について

今後も安全で安心な食肉を提供していくためには、職員の技術が大変重要になってくるため、と畜の技術の高さを引き継いでいけるようにしっかりと研鑽を積みながら、引き続き良質な食肉の提供に努めること。 【要望事項】

(4) 消費者ニーズにかかる情報収集について

より幅広く情報収集をすることにより、消費者ニーズを十分に把握していく必要があると考える。消費者ニーズの集約を図るために、情報誌の購入や視察の旅費など情報収集にかかる予算を確保すること。 【改善事項】

(5) 食の安全安心について

平成32年(2020年)6月までのHACCP(ハサップ)認証など食の安全安心に関する取組みに努めているところであるが、より多くの方々に努力の成果が見えるようアピールに努めること。 【要望事項】

(6) 食育について

食育という観点から、小中学生を対象として、見学の受入れやパンフレットなどにより仕事内容を周知するなど、公社の果たす社会的役割のひとつとして具体的に検討すること。 【要望事項】

【商工農水部農水振興課、食肉センター・食肉地方卸売市場】

(1) 当法人への指導監督について

市から取締役を派遣し、取締役会議において経営改善に向けた指導監督を行っているとのことである。引き続き当法人の業務内容や決算状況を十分に把握するとともに、安全衛生対策や施設更新、当法人の社会的な使命について、当法人と十分に情報共有を図りながら、指導監督を行うこと。 【要望事項】